

第2回 沼津市総合計画審議会 会議の概要

日時：令和元年9月3日(火) 14:00～15:45

場所：沼津市民文化センター 第2練習室

資料：次第、資料1～5、基礎資料集

1 開会

2 第4次沼津市総合計画の総括について

事務局より、資料1について説明。

3 第5次沼津市総合計画基本構想 骨子案の説明

事務局より、資料2について説明。

●資料や説明に対する委員からの意見は以下のとおり。

- ・資料1の全体的な総括について、指標のほとんどが悪化しているのに、継続してきてやってきましたとして評価している点には違和感がある。

⇒第3章の産業関連の指標などは軒並み下がっているため、第5次では課題の一つとして捉え、産業を元気にするとして、まちづくりの柱にも掲げた。

- ・行政計画には継続も必要と考えるが、「第4次総合計画推進における基本指針」を「基本理念」に変えたのはなぜか。

⇒第4次では「定住人口」「交流人口」「環境との共生」「安全安心」の4つを課題としたが、まちづくり指標でも一定の成果を得られた「環境との共生」から、第5次では「産業振興」を新たな課題とし、その他の3つの課題については継続して取り組んでいく。

基本理念については、市民アンケートでは「中心市街地の活性化」が一番取り組むべき事項に挙げられており、また、統計資料からは働く場所がないから若者が市外転出後も戻ってこない傾向も伺えるため、産業振興に力を入れつつ、まちの動きも進んでいくことを「動き出す 創り出す」で強くアピールした。「誇りを持つ」では、市民が沼津はダメだと言うのではなく、沼津はいいところだからおいでよという声が市民の中に広がっていくことを求め、「市民の誇り」と、そして、市民同士が繋がってよりよい取組やチャレンジが進んで行くことを求めて「誇りと繋がり」を定めた。「心も体も元気で健康」は、市民一人一人が健康であること、そして、安全安心で暮らしていくことが大前提として大事であることから、基本的に取り組んでいくこととして示した。

- ・第4次総合計画の将来像における「県東部広域拠点都市」の文言を外すのはなぜか。

⇒これまで第3次・第4次で「拠点都市」とうたってきたが、市民の皆さんの中には沼津が東部の中心都市であるという自負はそもそもあると思う。第5次では、沼津がどのようなまちになるのかを市民がイメージしやすいようにするため、案のとおりとした。

- ・第4次総合計画の3章 - 節 - 項からなる3層構造から、8本の柱に計画の構造を変更し

たのはなぜか。

⇒第4次では3章の下に節があり、さらに項目があるということで、階層が深くなりすぎて市民にもわかりにくいことから、施策体系を簡素化して市民に伝わりやすくなることを意識した。

- ・数年間、リノベーションまちづくりや子育て支援に関わっているが、鉄道高架など沼津市が動き出していると肌で感じており、基本理念はわかりやすいと思った。
- ・動き出さないと始まらないと感じる。継続も必要だが西部地区の注目度も上がっており、市としてプラス材料になっていると思う。
- ・3つの基本理念が図示されており、市民に分かりやすくまちの在り方を宣言している市の決意を感じる。将来の都市像から「拠点都市」というフレーズがなくなっているが、これからは近隣市町と広域で連携していくように、人にフォーカスが当たるまちづくりでよいと思っている。
- ・市民と行政に危機感がないために、現状の沼津になっている。どのように危機感を受け止めるかが大切である。
- ・広域的に沼津がどう評価されているか相対的に見直して、実際にどうなるのか考える必要がある。東部のなかで、沼津が一番だと思っていたが、街中がさみしく感じる時がある。停滞感をどうにかしないといけないと感じている。
- ・初めて参加しているが、総合計画や審議会のことを知らなかった。沼津市の裾まで情報が広がるようにしないといけない。
- ・基本理念の「誇りと繋がり」を、第4次から第5次に計画が移っていくなかで、もう少しへりくだった表現にできないかと感じている。
- ・第4次の時も委員をやらせてもらったが、「環境」が先頭でいいのかなと思った。拠点都市についても全般的に守りの姿勢（今までの歴史、文化を大切にすること）を感じていた。第5次では、「動き出す、創り出す」という今までの沼津になかったキーワードであり、良いと思う。「動き出す」は、まだ積極と守りの半々な感じもするので、全体的なコンセプトとして新しい動きをつくるんだ、と打ち出して進めていけばいいのではと思う。
- ・長年、自治会に関わってきているが、昔に比べると自治会に関わる人が少なくなったと思う。市長によって市政の方向が変わり、どれも途中で終わってしまっている。個人的には、沼津は観光で生きていくべきと考えているが、若い市長であることから、市長が何で引っ張っていくかが見えてこないといけないと思う。
- ・国、県も「SDGs」の枠組みのなかで施策を考え事業を進めていくことになると思うが、東部の主要都市として沼津市も「SDGs」の枠組みに既存事業を合わせる、若しくは、新しい事業を考えていけばいいと思う。
- ・「SDGs」の考えを取り入れながら、新しい沼津を打ち出すことは良いと思う。「SDGs」の枠組みにない事業を無理にやることもないが、ある事業は当てはめていけばいいのでは。拠点都市の文言の有無については、打ち出し方が大切だと思う。
- ・沼津は東部の核となる都市で、最近、蒔いた種から新しい芽が出てきた感じがあり、その意味では、良いタイミングで第5次総合計画の策定期間を迎えたと思う。拠点都市の

表示については、沼津はオフィス機能に恵まれており、その点において、持っているポテンシャルは大きいと思う。

4 部会所属委員の選任

資料3のとおり部会所属委員を選任。

5 部会長の互選及び部会長職務代理者の指名

各部会に分かれ、部会長の互選、部会長職務代理者を指名

①元気・健康部会 部会長 犬塚委員、代理者 清水委員

②産業・観光部会 部会長 中山委員、代理者 大久保委員

③快適・安心部会 部会長 水谷委員、代理者 梅田委員

6 合同部会の設置

沼津市第5次総合計画基本構想案 総論部分（第1章から第4章）について、合同部会を設け審議することとなった。合同部会の所属委員については、審議会会長、会長職務代理者、各部会の部会長、代理者の8名となった。

7 部会への付託

付託内容は、資料4のとおり。

8 今後の予定等

資料5のとおり。②産業・観光部会については、部会第2回開催日を11月7日（木）10時～12時に変更する。

9 質疑応答

特になし。

10 閉会